

本年度で35年目を迎える乙訓青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を目指し活動を繋いできました。この素晴らしい乙訓青年会議所を継続する為に、我々は脈々と受け継がれてきた志を受け継ぎ、誇りと感謝を胸に新たなる歩みを進めていかなければなりません。しかし昨今の社会状況から読み取れる様に移り変わりの激しい時代に生きる我々は、自らの立ち位置を見失い易い状況下にあります。どの様な社会状況においても不動の心で行動していく為には、生まれ育った日本の良き心を改めて学ぶ事が必要だと考えます。そして一人ひとりが心豊かに気概を持って活動し、地域の負託と信頼に応えるべく、率先して明るい未来を創り出していかなければなりません。

我々が明るい未来を創り出していく為には一人ひとりの人間力の向上が必要です。人間力とは道德心、主体性と実行力を兼ね備えた不動の心で行動できる人だと考えます。道德心とは善悪を判断し善を行う心であり、善とは人を敬い人の為に行動できる利他の精神であると考えます。また主体性とは組織の中で自分の役割を自覚し、責任を持ったリーダーとしての考える力であると考えます。その道德心と主体性を持ち、地域の為に行動できる実行力が必要です。地域に住まう人と人がお互いを敬い、いきいきとした活気のある乙訓にする為に、「不動心、未来への原動力となれ」のスローガンの下、我々が人間力向上を目指し、率先して行動していかなければなりません。

本年度人間力向上委員会では、人間力を向上させる為に3回の例会を担当し、地域に開かれた学びの場となる様にいずれもオープン例会として開催します。3月例会では道德心を学ぶ事で、人を敬い人の為に行動できる利他の精神を強く持つきっかけを得て頂きます。7月例会では主体性について学ぶ事で、組織の中で自覚と責任を持ったリーダーとしての立ち位置をしっかりと定めた考える力を得て頂きます。そして11月例会では3月、7月の例会を踏まえた上で実行力を発揮するきっかけを得て、不動の心で行動できる人になって頂きます。また資質向上を目的とし、メンバー向けの事業を開催する事で人間力の向上に繋げて頂きます。これらの事業を通して道德心、主体性と実行力を兼ね備えた不動の心で行動できる人になり、乙訓にも人間力溢れる人を増やしていく事で、「明るい豊かな社会」の実現を目指して参ります。そして創立35周年の記念式典や記念事業において、35周年特別委員会と連携し協力して参ります。さらにまちづくり事業や青少年育成事業へ積極的に参加と協力を行い、同じ志高い仲間を増やす為に、会員拡大にも積極的に取り組んで参ります。

最後に人間力向上委員会では、「一人は皆の為、皆はひとつの為」を委員会スローガンとして活動し、委員会メンバーが率先して人間力向上を目指します。そして委員会メンバーが人を敬い、自覚と責任を持って一所懸命活動し、友情を育む事で力を合わせ、明るい未来を創り出していく原動力となって行動して参ります。